

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

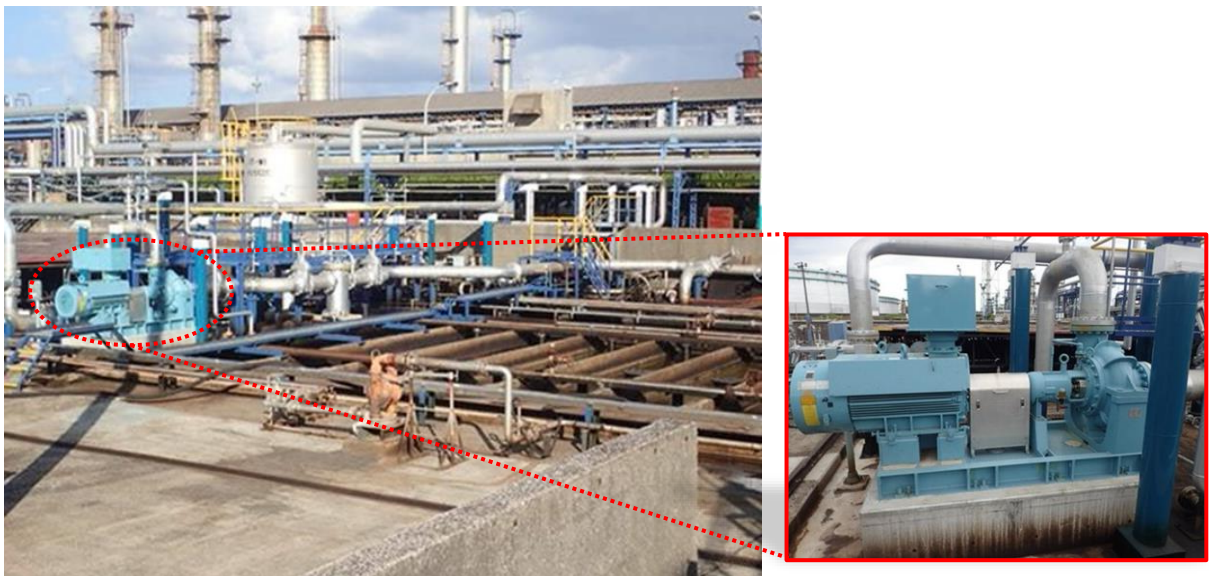
(1) 人命・財産の被害を防止し、最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

# 排水ポンプの増強等により冠水被害を防止し、安定的に石油製品を供給する

事業者：石油精製元売事業者等

## (取組例) 製油所における大雨・高潮等対策



### 製油所の排水設備の増強

特別警報級の大雨等の発生時における製油所機能の低下・停止を防ぐために、排水ポンプの増強等を実施。

## 対策名：67 製油所等のレジリエンス強化対策

主たる施策グループ：5-3) 都市ガス供給・石油・LPガス等の燃料供給施設等の長期間にわたる機能の停止



## 事業名：製油所等のレジリエンス強化対策

- ポイント**
- 製油所等の大雨・高潮等対策として排水ポンプの増強等を実施
  - 冠水被害を防止し、より安定的な石油製品の供給体制を構築

### 地域の概要・課題

近年、大型台風をはじめ風水害が激甚化しており、令和元年台風15号では、大雨や高潮により製油所内の一部で冠水が発生し、精製設備や出荷設備の一次停止を招きました。

長期にわたる製油所等の操業停止は、国内の石油安定供給に大きな影響を与えるため、対策が急務となっていました。

### 事業の概要

特別警報級の大雨や高潮等の新たな事象を想定した排水ポンプの増強等の強靱化対策を実施し、製油所の災害対応能力を強化することで、特別警報級の大雨や高潮等の発生時にも石油製品を安定的に供給できる体制を目指しています。

### 見込まれる効果

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策で実施した地震・津波対策等に加え、製油所等の更なるレジリエンス強化対策として排水ポンプの増強等の大雨・高潮等対策を実施することで、大雨・高潮発生時においても、建物の冠水被害を防止し、より安定的に石油製品を供給できるようになります。

令和元年（2019年）の台風15号では、高潮被害を受けた製油所内で冠水が発生し、精製設備が1週間程度停止。



2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達高度化の予測・収集・集積